

社協だより



第2次平川市地域福祉活動計画を策定しました.....	2
認知症は予防できる?.....	6
施設リポート.....	8
新理事・監事・評議員が決まりました.....	9
平成27年度事業計画.....	10
平成26年度事業報告.....	12
てんとうむし体操教室 大好評!!.....	14
少しでもお節介事業.....	14
児童館〈9月～3月行事予定〉.....	15
善意.....	16

<第2次地域福祉活動計画を策定しました>

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画は、地域福祉の推進を目的に社会福祉協議会が呼びかけ、住民や福祉に関する活動を行っている者、社会福祉事業を営む者が相互に協力して策定する民間の活動・行動計画です。

第2次平川市地域福祉活動計画の目的

少子高齢化や家族間・地域の関係性の希薄化に起因する多様な社会問題は、平川市においても同様に当てはまり、自身の力や公的福祉サービスだけでは対応できない課題が多くあります。また、高齢化率の高まりから限界集落問題が表面化してくる地域も想定され、地域力やコミュニティがある内に対応策を協議していくことが求められます。こうした課題や第1次計画の成果や課題を踏まえて、地域住民、町会、関係団体、社協、行政等がそれぞれの立場で何ができるのか共に考え、連携の形や役割の分担を明確にし、具体的な支援の仕組みを共に築き、福祉社会の実現に向けて共に歩むことを計画の目的としております。

第2次平川市地域福祉活動計画の概要

(1) 計画の期間

計画の期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間

(2) 計画の基本理念

「地域の人たちと共に考え、共に築き、共に歩む福祉社会を目指します」

(3) 計画の基本目標

基本目標① 地域福祉の推進と共助体制の構築

基本目標② 在宅福祉サービスの充実

基本目標③ 福祉教育とボランティアの推進

基本目標④ 権利擁護と自立生活支援の強化

(4) 計画の進行管理

本計画は、5年間の計画ですが、住民の生活課題や地域課題の変化、福祉制度の制定や改正といった不確実な要素も含んでいるため、進捗状況を管理するとともに評価し、進捗状況や社会情勢に合わせた見直しや修正を行います。



“コンクリートの診断ができる不動産屋”

ヒラカワ土地

代表 三浦 稔

〒036-0103
青森県平川市本町平野24-1(第2平野ビル1F)

TEL 0172-55-0087

私たちは、先進の介護システムで
皆様の**健康**と**福祉**を支援しています。

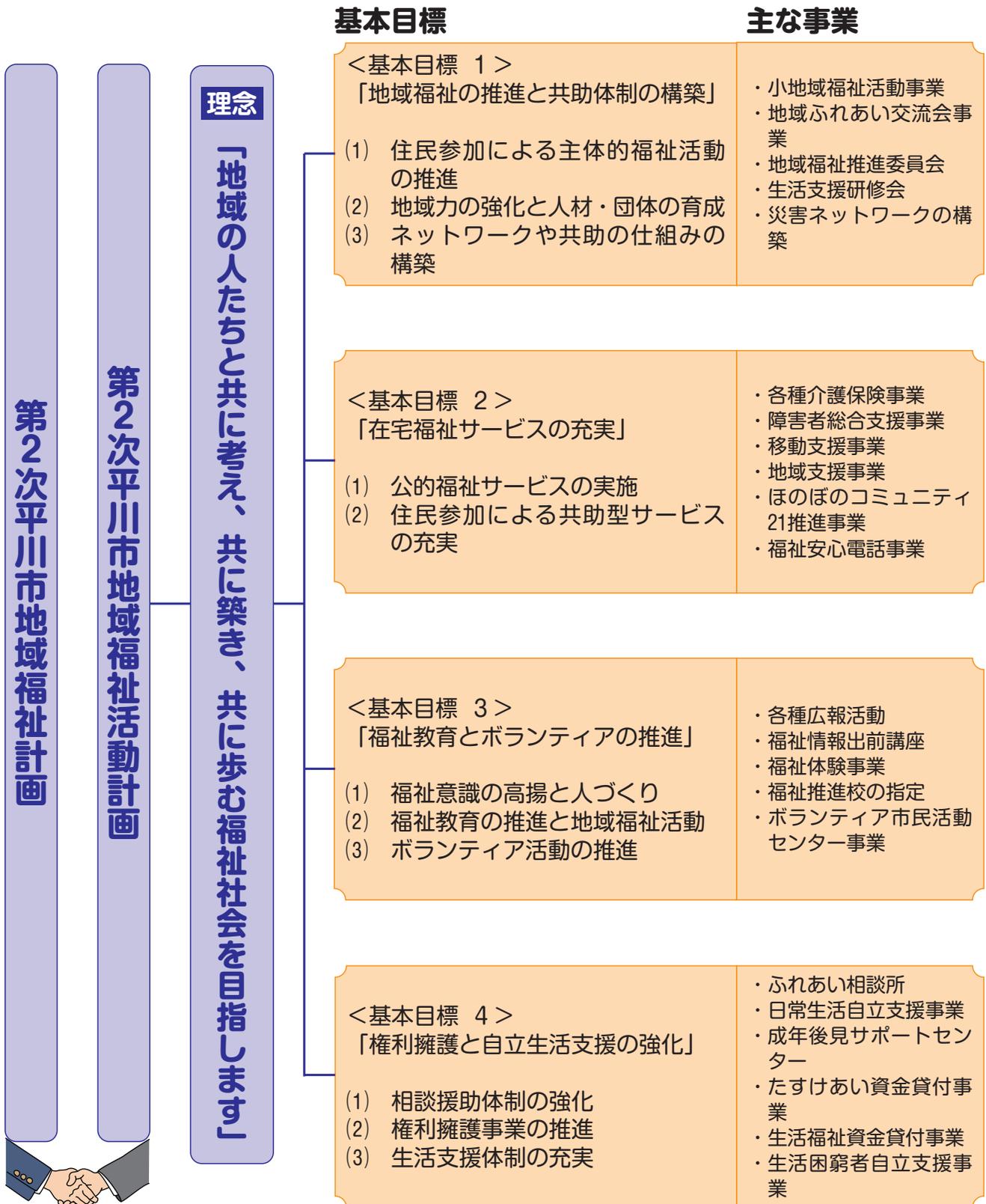


全国 **20,000** 件以上の実績
社会福祉 事業者様向け業務システム

ほのぼのNEXT

RAM ラム・システム株式会社 電話 0172-53-1755
黒石市青山126番地の2 FAX 0172-53-1163

第2次平川市地域福祉活動計画の体系



連携

基本目標別実施事業（抜粋）

1. 地域福祉の推進と共助体制の構築

実施計画 (推進項目)	事業項目 (事業名)	事業の具体的な実施内容・課題
(1) 住民参加による 主体的福祉活動 の推進	小地域福祉活動事業	町会や福祉会（部）を主体とし、それぞれの地域に合わせた福祉活動の推進を支援します。ホットサロンや小規模除排雪事業等の選択事業の拡充を図ります。
	地域ふれあい交流会開催事業	住民相互の交流保持と地域におけるネットワーク推進を図るため、町会単位で地域の誰もが参加できる交流会の開催を支援します。
(2) 地域力の強化と 人材・団体の育成	地域福祉推進委員会	社会福祉事業の総合的な推進と地域住民の参加促進に関して、各地域の意見を社協会長に具申する委員会を開催します。
	福祉関係団体等との情報交換会の開催	市内外の福祉関係団体等と情報交換会を開催することにより、団体間の連携と情報交換を図り、生活ニーズや地域ニーズへの支援体制の構築を検討します。
(3) ネットワークや 共助の仕組みの 構築	小地域ネットワークの形成	小地域において、ケースに順応したネットワークを形成し、それぞれのケースに応じた支援体制の確立や役割分担を行い、効果的な組織間の連携も図ります。
	災害ネットワークと連絡体制の構築	自主防災組織や市が行う防災訓練等を活用し、地域の生活支援関係者が災害時の役割を明確にし、連携を図る体制づくりを支援します。

2. 在宅福祉サービスの充実

実施計画 (推進項目)	事業項目 (事業名)	事業の具体的な実施内容・課題
(1) 公的福祉サービスの 実施	介護保険事業	介護が必要な対象者に対して、日常生活全般の状況及び要望を踏まえて、訪問・訪問入浴・通所・居宅介護支援等の介護サービスにより生活支援を図ります。
	障害者福祉サービス事業	障がいを抱えた方が、住み慣れた地域で自立した生活が営めるように、居宅介護等サービス事業や特定相談支援事業を行い、障がい者の在宅生活を支援します。
	移動支援事業	要介護者や障がい者等の公共交通機関の利用が困難な方を対象に、通院や外出支援を目的に福祉有償運送事業や障害者移動支援事業を実施します。
	地域支援事業	平川市より委託された介護予防事業により、要介護状態を予防するとともに、要介護状態になっても地域で自立した生活を営むことができるように支援します。
(2) 住民参加による 共助型サービスの 充実	ほのぼのコミュニティ21推進事業	一人暮らし高齢者等を対象にほのぼの交流協力員が、定期的に友愛訪問や見守り活動を行います。また、活動を通じて課題の早期発見や解決支援も行います。
	福祉安心電話事業	一人暮らし高齢者等を対象に福祉安心電話を設置し、急病や火災等の緊急対応を行います。また、近隣協力員による見守りも行います。
	ふれあいいきいきサロン推進事業	誰もが気軽に歩いて参加できる場所を拠点に、参加者が自ら企画し、運営する小地域（グループ）での楽しい集まりを支援します。

3. 福祉教育とボランティアの推進

実施計画 (推進項目)	事業項目 (事業名)	事業の具体的な実施内容・課題
(1) 福祉意識の高揚 と人づくり	福祉情報出前講座の実施	町会や各種団体から申込みを受け付けて、職員の派遣または講師を斡旋し、福祉の広報活動として、出前方式の講座を実施します。
	成年後見セミナーの開催	市民後見人へのフォローアップや活動支援、住民に対しての成年後見制度の周知を図るために、成年後見セミナーを開催します。
(2) 福祉教育の推進 と地域福祉活動	学校連絡会の開催	市内の小・中学校・高等学校の担当教員と福祉教育やボランティア等の福祉に関する情報交換会を開催し、福祉ニーズの共有を図ります。
	福祉体験事業	福祉施設利用者との交流や事業所見学、ボランティア体験等を通じて、参加者が主体的に様々なことを学びとれる機会を提供します。
(3) ボランティア活動 の推進	ボランティア・市民活動センターの設置・運営	自身の力や経験を活用しながら自主的に参加できる、ボランティア環境の整備や人材育成を通して、ボランティア個人や福祉団体への支援を図ります。
	ボランティア講座の開催	市民のボランティアに関する意識の啓発と醸成、情報提供を図るためにボランティア講座を開催します。

4. 権利擁護と自立生活支援の強化

実施計画 (推進項目)	事業項目 (事業名)	事業の具体的な実施内容・課題
(1) 相談援助体制の 強化	ふれあい相談所・特別相談所・広域法律相談所の開設	ふれあい相談所や特別・法律相談所を開設し、総合的に対応した相談体制を整備します。相談と援助を一体的に提供する相談援助機関の確立に努めます。
(2) 権利擁護事業の 推進	日常生活自立支援事業の実施	高齢者や障がいのある方が、地域で安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、それに伴う日常的金銭管理を行います。
	成年後見サポートセンター事業	判断能力が著しく低下した方々が、社会生活において様々な法律行為を必要とする場合に、相談から成年後見人の受任まで総合的な支援を行います。
	法人後見の受任	親族や専門職による適切な後見人が得られない場合や課題が複雑化し個人後見の受任が困難な場合に、市社協が法人として後見を受任します。
(3) 生活支援体制の 充実	たすけあい資金貸付事業	一時的に生活資金に困難が生じた住民に対して生活資金を貸し付け、世帯更生に向けた生活支援と自立援助を行います。
	生活福祉資金貸付事業	総合支援資金・福祉資金・教育支援資金等の貸し付けにより、世帯の自立更生を図るとともに、生活意欲の助長促進と生活の安定を目的に生活支援をします。
	障害者通園(所)助成費事業	心身障がい者が冬期間、市外の障害者支援施設に通う際の交通費の一部を助成し、生活の支援を行うとともに公共交通機関の利用により自立支援を図ります。
	生活困窮者自立支援事業	経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれがある方々に対して、相談窓口を通じて、寄り添い型の支援を行い、生活困窮状態からの自立支援を図ります。

※第2次平川市地域福祉活動計画の詳細は、平川市社協ホームページ並びに平賀・尾上・碓ヶ関各事業所で閲覧できます。

認知症は予防できる？

現時点では、残念ながら『こうすれば認知症にならない』という方法はありません。しかし、最近の研究から『どうすれば認知症になりにくいか』ということが、少しずつわかってきたそうです。



認知症を予防する対策は、大きく分けて2種類で『日々、認知症になりにくい生活習慣を行うもの』と『認知症で落ちる3つの能力を簡単なトレーニングで鍛えるもの』とがあるそうで、これらを長く続けていくことで、認知症を発症せずに過ごせたり、認知症になる時期を遅らせたりできる可能性が高まるそうです。

認知症になりにくい生活習慣

認知症の原因の約6割を占めるアルツハイマー型認知症の発症に、生活を取り巻く環境の影響が大きく関わっていると分かってきました。

『脳の状態を良好に保つためには、食習慣や運動習慣を変えること』や、『認知機能を重点的に使うためには、対人接触を行うことや知的行動習慣を意識した日々を過ごすこと』が重要だと言われています。



下の表でそれぞれの対策の具体例をまとめました。



1. 食習慣	野菜・果物(ビタミンC、E、βカロチン)をよく食べる
	魚(DHA、EPA)をよく食べる
	赤ワイン(ポリフェノール)を飲む
2. 運動習慣	週4日以上の有酸素運動をする
3. 対人接触	人とよくお付き合いをしている
4. 知的行動習慣	文章を書く・読む、ゲームをする、博物館に行くなど
5. 睡眠習慣	30分未満の昼寝、起床後3時間以内に太陽の光を浴びる

OA機器・事務用品・スチール製品

オフィスバリュー(株) マルキ

<http://www.maruki-ov.com>

〒030-0845 青森市緑3丁目10-27

TEL:017-775-7551 FAX:017-775-0188

(青森店) TEL:017-732-3288 FAX:017-775-0188 (弘前店) TEL:0172-39-6701 FAX:0172-39-6702
(五所川原店) TEL:0173-38-3102 FAX:0173-38-3103 (弘前南店) TEL:0172-39-4015 FAX:0172-39-4042



ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本社/青森市大字三内丸山393-270 (西部工業団地内) TEL 017-761-5300
■八戸支店 ■東京支店 ■弘前営業所

認知症で落ちる3つの能力の鍛え方

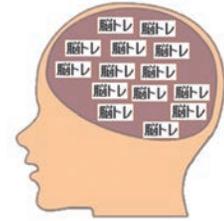
認知症になる前段階で落ちる脳機能を集中的に鍛えることは、発症を遅らせるための効果的な方法であるということが分かってきました。

認知症という病気に至る前の段階では、通常の老化とは異なる認知機能の低下がみられます。この時期に最初に低下する認知機能が、

『エピソード記憶、注意分割機能、計画力』です。

これらを意識して重点的に使い、その機能を鍛えることで認知機能の低下を予防します。

下の表に、それぞれの機能の簡単な鍛え方をまとめました。



機能	内容	鍛え方
エピソード記憶	体験したことを記憶として思い出す	2日遅れ、3日遅れの日記をつける。
		レシートを見ないで、思い出して家計簿をつける。
注意分割機能	複数の事を同時に行う時、適切に注意を配る機能	料理を作るときに、一度に何品か同時進行で作る。
		人と話をするとき、相手の表情や気持ちに注意を向けながら話す。
		仕事や計算をテキパキと行う。
計画力	新しいことをするとき、段取りを考えて実行する能力	効率の良い買い物の計画を立てる。
		旅行の計画を立てる。
		頭を使うゲーム（囲碁・将棋・マージャン等）をする。
		やり慣れたことでなく新しいことをする。

認知症を予防するためにはどのようなことに気をつければ良いか、心構えをご紹介します。

認知症はその原因が明確に究明されたわけではありません。特にアルツハイマー型老年認知症では、その（一次要因）予防法というの、確立した方法があるわけではありません。

ここでは、公益財団法人「認知症予防財団」で発表されている「予防10か条」をご紹介します。

予防10か条

1. 塩分と動物性脂肪を控えたバランスのよい食事を
2. 適度に運動を行い足腰を丈夫に
3. 深酒とタバコはやめて、規則正しい生活を
4. 生活習慣病（高血圧、肥満など）の予防・早期発見・治療を
5. 転倒に気をつけよう 頭の打撲はボケ招く
6. 興味と好奇心をもつように
7. 考えをまとめて表現する習慣を
8. こまやかな気配りをしたよい付き合いを
9. いつも若々しく、おしゃれ心を忘れずに
10. くよくよしないで、明るい気分で生活を



◎最も重要なのは早期から根気強く予防対策を行う事です。



社会福祉法人 白岩会

幼保連携型 認定こども園

こども園 あらや

園長 斎藤 千恵子

〒036-0121
青森県平川市新屋平野13-1
TEL&FAX 0172-44-3170
www.araya-hoikuen.com
E-mail arayaho-3170@ec3.technowave.ne.jp





施設レポート

社会福祉法人ほほえみ 就労支援事業所カリフラワー

現在、平川市館山で社会福祉法人ほほえみ就労支援事業所カリフラワー（以下カリフラワー）では、障がい者の就労支援を積極的に展開し、通常の工業部品組立作業から弁当などの食品部門まで事業を拡大してきました。カリフラワーでは「就労する喜びと生きがい」を持てるように、これまで生活を含めた支援を行ってきましたが、課題はまだたくさん残されているとのこと。そこで、今井隆太施設長に、障がい者の現状や就労の課題について伺ってみました。

＝障がい者を取り巻く社会の現状＝

世の中は経済社会。そして少子高齢化や人口流出などの問題について騒がれています。この国の未来を形成していく一つの方法として、今までは施設に通われていた障がいのある方も生産人口の一員として働くことを求められています。もちろん働きたい方はたくさんいますし、その方々を我々は支援します。しかしそればかりが取り沙汰され、働くことが困難な方もいるという事実はいくら情報化が進んだとしても、クローズアップされることはそうそうありません。私達は法や制度の網にはかからない課題と日々向き合い、この業務に従事しております。

＝施設の紹介（施設の理念や事業内容）＝

カリフラワーは平成7年4月に小規模作業所としてスタートしました。理事長が経営する会社の一角に、当時は10名もいない利用者さんがおり、社員の方と一緒に働いていました。現在のカリフラワーの前身となったきっかけは今から30数年前、現：社会福祉法人ほほえみの理事長である今井隆一が、障がいのある方の雇用に大手を振って取り組みました。当時はまだ障がい者雇用が当たり前ではなかった時代。この場でお伝えするにはあまりにも多くの苦難があり、またそこには多くのドラマがありました。様々な困難を乗り越え、現在の就労支援事業所カリフラワーがあります。太い歴史を築きながら、今も近隣の地域の皆様に支えられながら、私達は日々の業務に従事しております。この館山・松崎地区の暖かい地域性、人柄には今も本当に助けられています。

今年度コンセプトに掲げた「universal」ユニバーサル（何人も除外せず）、「unite」ユナイト（人が集まる空間を）、「unique」ユニーク（独自の手法で展開する）。この「3UNI」を念頭に、今も尚、障がいがあることによって生活上困難な場面に遭遇する方々に、人生というドラマを創っていただくため、スタッフ一同、日々奔走しております。

＝メッセージ＝

私達は就労支援を主軸に、一人ひとりの自立を目指し運営してまいりました。障がい福祉関連の施策は時代と共に現在進行形で変化しています。冒頭に書いたように働ける方は就職を目指すことが求められていますが、働くことが困難な方は世の中にはもっとたくさんいるのです。多種多様なニーズを受け入れたうえで、今後私達は関係機関と連携をとり、障がいがあるということを魅力に変えて世に発信することに力を注ぎます。まだまだスタートしたばかり。ひとりでも多くの方の「生きづらさ」が緩和されるようお願い、私達は今日も目の前の課題と静かに顔を合わせます。



障がい者相談支援事業

障がいを持った皆様の生活に関する相談を受け付けています

私たちは皆様の **夢** をかなえる
お手伝いをします

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 **平川市社会福祉協議会**
特定相談支援事業所

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山16-1
TEL 0172(44)5907 Fax 0172(44)4574

新理事・監事・評議員が決まりました

任期満了に伴う役員改選で、理事・監事においては、7月1日より、評議員においては6月1日より新たにスタートしました。

役職員共々、平川市社協の理念の実現、福祉向上を目指して、邁進してまいりますので、市民の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事（定数10名） （任期 平成27年7月1日～平成29年6月30日）

職名（選出区分）	氏名	備考
会 長（学識経験者）	外 川 三千雄	
副 会 長（町内会等住民自治組織）	齋 藤 博 美	平川市行政委員連絡協議会
副 会 長（民生委員・児童委員）	清 藤 盛 正	平川市民生委員児童委員協議会
常務理事（学識経験者）	佐 藤 俊 英	
理 事（福祉関係団体）	高 阪 盛 男	平川市老人クラブ連合会
理 事（学識経験者）	小山内 義 通	
理 事（社会福祉事業経営団体）	成 田 和 博	特別養護老人ホーム「緑青園」
理 事（ボランティア活動団体）	鎌 田 正 信	平川市ボランティア連絡協議会
理 事（学識経験者）	小田原 喜佐夫	
理 事（関係行政機関公務員）	松 井 靖 子	平川市健康福祉部長

※副会長、理事の順位は、会長職務代理者の順位となります。

監事（定数3名） （任期 平成27年7月1日～平成29年6月30日）

選 出 区 分	氏 名	備 考
学識経験者	古 川 欽 一	
学識経験者	小田切 忠 一	
学識経験者	柴 田 幸 一	

評議員（定数21名） （任期 平成27年6月1日～平成29年5月31日）

選 出 区 分	氏 名	備 考
民生委員・児童委員	櫛 引 清	平川市民生委員児童委員協議会
民生委員・児童委員	丸 山 久美子	平川市民生委員児童委員協議会
町内会等住民自治組織	小 野 隆	平川市行政委員連絡協議会
町内会等住民自治組織	一 戸 勝 廣	平川市行政委員連絡協議会
福祉関係団体	木 村 卓 郎	平川市身体障害者福祉会
福祉関係団体	齋 藤 文 昭	平川市遺族会
福祉関係団体	葛 西 金 光	平川市手をつなぐ親の会
社会福祉事業・更生保護事業経営団体	丸 山 恵	河南地区保護司会平川連合会
社会福祉事業・更生保護事業経営団体	油 川 瑞 緒	障害者支援施設「旭光園」
ボランティア活動団体	大 川 富 子	碓ヶ関赤十字家庭看護法奉仕団
利用者の家族の代表	葛 西 春 樹	在宅介護者「えがおの会」
保健・医療・教育関係機関	古 川 レイ子	平川市保健協力員会
地域福祉推進協力機関・団体	今 井 哲	平川市保育連絡協議会
地域福祉推進協力機関・団体	大 里 あ さ	平川市食生活改善推進員会
福祉推進委員会	丹 代 秋 雄	平賀地域福祉推進委員会
福祉推進委員会	船 木 章 雄	尾上地域福祉推進委員会
福祉推進委員会	平 山 純 一	碓ヶ関地域福祉推進委員会
関係行政機関公務員	小 林 留美子	平川市教育委員会事務局長
学識経験者	成 田 昌 平	
学識経験者	土 岐 一	
学識経験者	齋 藤 三千義	

平成27年度事業計画(抜粋)

基本理念

「地域の人たちと共に考え、共に築き、共に歩む福祉社会を目指します」

重点目標

1. 法人経営の基盤強化
2. 相談・援助体制の確立
3. 地域生活支援の強化
4. 地域福祉事業における住民参加の促進
5. 福祉教育・ボランティア活動の推進
6. 低所得者・障がい者等の自立生活支援
7. 介護保険事業・介護予防事業の経営基盤の強化
8. 共同募金配分事業の効果的実施
9. 指定管理者事業の経営・受託事業の効果的運営

事業内容

1. 法人経営の基盤強化
 - 理事会・評議員会・三役会議の開催
 - 福祉推進委員会の開催(3地域)
 - 第二次地域福祉活動計画の実施
 - 役員研修の実施
 - 各種広報活動(社協だより、パンフレット、ホームページ)
 - 社協内部けん制体制の構築
 - 内部監査の実施
 - 社協自己評価の実施

2. 総合相談・援助体制の確立
 - ふれあい相談所の開設(特別相談等)
 - 平川市及び専門機関との連携、協力
3. 地域生活支援の強化
 - 小地域ネットワークの形成
 - 日常生活自立支援事業の実施(基幹社協)
 - 成年後見サポートセンターの運営
 - 市民後見セミナーの開催
 - ひとり暮らし高齢者等生活支援事業(料理教室、屋根の雪下ろし、配食等)
 - 福祉機器の貸出、紹介、斡旋
 - 子育て応援ネット事業の実施
4. 地域福祉事業における住民参加の促進
 - ほのぼのコミュニティ21推進事業
 - 町会福祉会・福祉部支援及び設置促進
 - ふれあいいきいきサロン推進事業 30ヶ所
 - 地域ふれあい交流会開催事業 40ヶ所
 - 小地域福祉活動事業の推進(ふれあいホットサロン・小規模除排雪事業)
 - 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」
 - ひとり暮らし高齢者会食サービス事業
 - 愛の輪レクリエーション事業
 - 災害時マップづくり事業支援・協力

- 地域福祉推進団体等との情報交換会
5. 福祉教育・ボランティア活動の推進
 - ボランティア市民活動センター事業(相談・登録・斡旋・研修)
 - 災害ボランティアネットワークの構築
 - 福祉教育の推進(ボランティア推進校、小学生福祉体験事業、学校連絡会、社会福祉士実習等の受入れ)
 - 福祉情報出前講座の講師派遣・斡旋
 6. 低所得者・障がい者等の自立支援
 - たすけあい資金の貸付
 - 生活福祉資金・総合支援資金の貸付
 - NHK歳末たすけあいの配分(共募配分事業)
 - 障がい児・者通園費の助成(冬期間)
 7. 介護保険事業・介護予防事業の経営
 - 訪問介護及び介護予防訪問介護事業所(ホームヘルパー)
 - 訪問入浴介護及び介護予防訪問入浴介護事業所
 - 通所介護及び介護予防通所介護事業所(デイサービス)
 - 居宅介護支援事業所(ケアマネジメント)
 8. 共同募金配分事業
 - 高齢者福祉活動費(会食サービス)

青森県内全域無料送迎いたします!

日帰り温泉 湯ったりパック

★市柳膳3,000円からご用意しております 《六ヶ所原燃PRセンター見学付》

温泉ご入浴&お食事ご休憩「個室」の厳選パック

ご利用時間10:00~15:00 ●10名様以上で7日前までにご予約ください。

■ご予約・お問合せは
スパハウスろっかぽっか
 ☎0175-69-1126

彩りプラン
 ●お一人様 2000円
 ※入館料・室料込

〒039-3213 青森県上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内337

新車販売・中古車販売・車検・点検・整備・修理・钣金・保険・リサイクル

クルマのことは何でもご相談を受け賜ります

心をつなぐクルマ 心を繋ぐアフター

弘前高田店
 弘前市高田町三丁目1番1号
 TEL.0172-29-1155

CHIBA SHOKAI
 http://www.chibashokai.jp

株式会社 千葉商会
 〒036-8127
 青森県弘前市大字小島山字小松ヶ沢245
 TEL.0172-87-2917
 FAX.0172-88-3527

本 社
 スーパーを除くセット・新車販売
 中古車販売・車検・点検・整備・修理
 钣金・保険・レンタリース・リサイクル
 TEL.0172-87-2917
 〒036-8084 青森県弘前市大字高田2丁目3-3
 FAX.0172-88-3527

E-mail e-desk@chibashokai.jp

- 障がい児・者福祉活動費（通園助成費、愛の輪レクリエーション）
- 児童・青少年福祉活動費（小学生福祉体験事業）
- 母子・父子福祉活動費（ファミリーサポートセンター事業）
- 福祉教育・援助活動費（長寿福祉大会、ボランティア推進校事業、ふれあい交流会開催事業、いきいきサロン事業）
- ボランティア活動育成事業（屋根の雪下ろし事業、ボランティア市民活動センター事業）
- 広報調査活動費（社協だより発行、パンフレット）

9. 指定管理者制度事業・受託事業の効果的運営

- 平川市尾上地域福祉センター・保健センター、平川市碓ヶ関地域福祉センターの管理運営（指定管理者制度）

- 平川市平賀・尾上児童館（指定管理者制度）
- 高齢者世話付住宅「やすらぎの家」
- 尾上・碓ヶ関在宅介護支援センター事業（2ヶ所）
- 平川市地域包括支援センターブランチ事業（2ヶ所）
- 平川市訪問入浴サービス事業
- 地域支援事業（介護予防事業）
- 生活困窮者自立相談支援事業の実施（新規）

10. その他の事業

- 障害者特定相談支援事業
- 障害者自立支援事業（居宅介護事業）
- 福祉有償運送事業
- 三代交流ふれあい広場の開催
- 福祉関係団体事務委託

- ①平川市老人クラブ連合会
- ②平賀地区・尾上地区・碓ヶ関地区老人クラブ
- ③平川市ボランティア連絡協議会
- ④平川市母子寡婦福祉会
- ⑤平川市遺族会
- ⑥平川市遺族会平賀支部・尾上支部・碓ヶ関支部
- ⑦平賀・尾上赤十字奉仕団
- ⑧平川市「えがおの会」
- ⑨平川市手をつなぐ親の会
- ⑩平川市身体障害者福祉会 碓ヶ関支部
- ⑪平川おもちゃ病院



平成27年度 一般会計資金収支予算書

(単位：円)

勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
事業活動による収入の部		事業活動による支出の部	
会費収入	8,420,000	人件費支出	233,383,000
寄附金収入	700,000	事業費支出	41,008,000
経常経費補助金収入	50,655,000	事務費支出	22,800,000
受託金収入	59,959,000	貸付事業支出	3,000,000
貸付事業収入	3,000,000	共同募金配分金事業費	3,793,000
事業収入	7,696,000	助成金支出	5,529,000
負担金収入	230,000	負担金支出	1,736,000
介護保険事業収入	179,071,000		
障害者福祉サービス等事業収入	6,177,000		
受取利息配当金収入	32,000		
その他の収入	503,000		
事業活動収入計	316,443,000	事業活動支出計	311,249,000
施設整備等による収入の部		施設整備等による支出の部	
		固定資産取得支出	800,000
施設整備等収入計	0	施設整備等支出計	800,000
その他の活動による収入の部		その他の活動による支出の部	
積立資産取崩収入	4,484,000	積立資産支出	432,000
事業区分間繰入金収入	2,048,000	事業区分間繰入金支出	2,048,000
拠点区分間繰入金収入	19,641,000	拠点区分間繰入金支出	19,641,000
サービス区分間繰入金収入	5,531,000	サービス区分間繰入金支出	5,531,000
		その他の活動による支出	8,446,000
その他の活動収入計	31,704,000	その他の活動支出計	36,098,000
予備費			0
当期資金収支差額合計			0
前期末支払資金残高			0
当期末支払資金残高			0

平成26年度事業報告

1. 法人運営の強化

- 理事会・評議員会・三役会議の開催
理事会4回 評議員会4回
監査会2回 三役会議4回
- 各種委員会の開催
①たすけあい資金運営委員会1回
②児童館運営委員会2回
③福祉推進委員会2回(3地域)
- 寄付金の実績
・寄付金18件 744,976円
・物品等寄付28件
プルタブ、書籍、お米、食料品等
- 社会福祉援助技術現場実習生の受入れ(9名)
- 職員全体研修会2回

2. 相談・援助体制の確立

- ふれあい相談所の開設
・特別相談・一般相談
開設日数146日、来談者数37名
相談件数58件
・広域法律相談、特別相談
・福祉安心電話設置世帯に対する
安否確認及びニーズ把握483名

3. 地域生活支援の強化

- 家族介護者交流事業
・平川市在宅介護者リフレッシュ事業(2回実施)
参加者 介護者36名
- 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業
・三世交流ふれあい広場事業
参加者24名
・高齢者軽スポーツ大会
参加者530名
・さきおり教室(尾上事業所)
延べ開催日数190日
延べ参加者数842名
・陶芸教室(尾上事業所)
延べ開催日数108日
延べ参加者数534名
(内 旭光園利用者86名)
- 日常生活自立支援事業
利用者52名
延べ利用回数631回
- 成年後見サポートセンターの設立
・後見受任2件
- 成年後見セミナーの開催
開催回数3回
延べ参加者数38名
- ひとり暮らし高齢者等料理教室
・延べ開催回数6回
延べ出席者数84名
- 配食サービス事業
・配食利用者数138名
延べ配食個数1,697食

4. 地域福祉事業における住民参加の促進

- ほのぼのコミュニティ21推進事業

- ・ほのぼの交流協力員数525名
訪問世帯数560世帯
- 地域ふれあい交流会開催事業
46町会
平賀地域(23町会)、尾上地域(12町会)、碓ヶ関地域(10町会)
- 小地域福祉活動事業 47町会
平賀地域(22町会)、尾上地域(14町会)、碓ヶ関地域(11町会)
- ふれあいいきいきサロン推進事業
25サロン
平賀地域(4サロン)、尾上地域(10サロン)、碓ヶ関地域(11サロン)
- 緊急通報システム「福祉安心電話サービス事業」の実施
・年度末設置台数104台
協力員262名
・着信状況(緊急通報51件、協力員要請18件、救急車要請2件、救急・協力員の要請0件)
- ひとり暮らし高齢者会食サービス事業
・年間実施回数12回
対象者累計596名
奉仕者・団体協力者198名
- ひとり暮らし高齢者リフレッシュ事業
参加者16名
- 愛の輪レクリエーション事業
参加者91名

5. 福祉教育・ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの強化・ボランティア通信の発行
- ボランティア活動保険等の加入促進 1,319名・19団体
- ボランティア協力校の指定9校
・小和森小学校・柏木小学校・金田小学校・猿賀小学校・碓ヶ関小学校・平賀西中学校・平賀東中学校・碓ヶ関中学校・柏木農業高等学校
- 小学生福祉体験キャンプ
社会福祉法人緑風会
特別養護老人ホーム「緑青園」
参加者 小学生14名
実習生9名
- 福祉情報出前講座の実施
町内会5件、学校7件、団体10件、
合計22件、818名参加

6. 低所得者等の自立支援

- たすけあい資金の貸付
22件 1,536,000円
- 生活福祉資金の貸付(県社協より受託)
福祉資金 2件 801,000円
教育支援資金 5件 2,772,000円
緊急小口資金 1件 100,000円
総合支援資金 3件 756,000円
- 要保護者向け長期生活支援資金の貸付(県社協より受託)
貸付実績1件

- 障がい者通園費の助成(県共募配分事業)
利用者数4名、申請回数15回
助成額総計112,130円

7. 介護保険事業等の経営基盤の強化

- 訪問介護事業(2事業所)
延べ利用者数1,577名
延べ訪問回数11,810回
- 訪問入浴介護事業(1事業所)
延べ利用者数80名
延べ訪問回数401回
- 通所介護事業所(2事業所)
延べ利用者数10,954名
- 居宅介護支援事業
・ケアプラン作成2,663名
・介護予防ケアプラン作成(受託)540名
・認定訪問調査(委託)281件

8. 共同募金配分事業の効果的実施

- 平川市長寿福祉大会
表彰者 個人4名 1団体
- 機関紙「社協だより」の発行(2回)

9. 受託事業の効果的運営

- 地域福祉センターの管理運営
尾上地域福祉センター利用状況
25,838名
碓ヶ関地域福祉センター利用状況
9,866名
- 高齢者世話付住宅管理運営
入居者8名 来訪者353名
- 児童館管理運営(2館)
来館児童数13,188名
- 放課後児童健全育成事業(1カ所)
利用児童数 7,305名
- 在宅介護支援センター・包括支援センターランチ(2カ所)
・介護予防教室199回開催
延べ参加者2,535名
・一次予防事業「てんとうむし体操教室」48回開催
延べ参加者1,234名
・二次予防事業「てんとうむし体操教室」24回開催
延べ参加者193名
・頭の体操教室36回開催
延べ参加者297名
・家族介護者教室6回開催

10. その他事業

- 福祉有償運送利用実績
延べ利用者数1,357名
- 障害者自立支援事業(居宅介護)
実利用者数145名
- 身体障害者訪問入浴事業
延べ利用者数19名
- 特定相談支援事業
実利用者数178名

平成27年3月31日現在 (単位：円)

平成26年度 一般会計資金収支決算書

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
経常活動による収入の部		経常活動による支出の部	
会費収入	8,339,760	人件費支出	232,297,706
寄附金収入	744,976	事務費支出	9,585,998
経常経費補助金収入	44,565,000	事業費支出	58,012,312
助成金収入	3,411,000	貸付事業等事業	1,541,000
受託金収入	56,617,740	共同募金配分金事業	3,877,478
事業収入	9,356,798	助成金支出	5,566,000
貸付事業等収入	2,052,915	負担金支出	1,576,300
共同募金配分金収入	6,372,500	経理区分間繰入金支出	23,148,799
負担金収入	194,000		
介護保険収入	194,410,640		
自立支援費等収入	6,702,399		
雑収入	393,903		
受取利息配当金収入	45,835		
経理区分間繰入金収入	23,148,799		
経常活動収入計	356,356,265	経常活動支出計	335,605,593
施設整備等による収入の部		施設整備等による支出の部	
施設整備等収入計	1,636,000	施設整備等支出計	△12,721,576
財務活動による収入の部		財務活動による支出の部	
財務活動収入計	11,430,741	財務活動支出計	8,263,560
予備費			0
当期資金収支差額合計			11,196,277
前期末支払資金残高			84,197,679
当期末支払資金残高			95,393,956

平成26年度 一般会計事業活動収支決算書

勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
経常活動による収入の部		経常活動による支出の部	
会費収入	8,339,760	人件費支出	232,297,706
寄附金収入	744,976	事務費支出	9,205,546
経常費補助金収入	44,565,000	事業費支出	58,012,312
助成金収入	3,411,000	共同募金配分金事業	3,877,478
受託金収入	56,617,740	助成金支出	5,566,000
事業収入	9,356,798	負担金支出	1,576,300
共同募金配分金収入	9,372,500	減価償却費	7,216,222
負担金収入	194,000	徴収不能引当金	45,000
介護保険収入	194,410,640	引当金繰入	8,644,012
自立支援費等収入	6,702,399		
雑収入	393,903		
引当金戻入	1,064,220		
事業活動収入計	332,172,936	事業活動支出計	326,440,576
事業活動外収入の部		事業活動外支出の部	
事業活動外収入計	23,194,634		
借入金利息補助金収入	0	事業活動外支出計	23,148,799
受取利息配当金収入	45,835	経理区分間繰入金支出	23,148,799
経理区分間繰入金収入	23,148,799		
特別収支収入の部		特別収支支出の部	
特別収支収入計	4,298,840	特別収支支出計	4,481,088
施設整備等寄附金収入	1,636,000	固定資産売却損及び処分損	295,088
国庫補助金等特別積立金取崩額	2,662,840	国庫補助金等特別積立金積立額	4,186,000
当期活動資金収支差額			5,595,947
前期繰越活動収支差額			105,130,620
当期末繰越活動収支差額			110,726,567
その他の積立金積立額			10,411,521
次期繰越活動収支差額			121,138,088

平成26年度一般会計決算報告貸借対照表

資産の部	
科目	金額
流動資産	115,129,791
預貯金	83,976,729
未収金	30,869,862
前払金	283,200
固定資産	265,866,119
基本財産	3,000,000
その他の固定資産	262,866,119
建物附属設備	1,197,760
車両運搬具	8,811,490
器具及び備品	8,980,321
ソフトウェア	6,085,944
長期貸付金	3,309,000
たすけあい資金	3,309,000
積立預金	51,618,479
備品等購入積立預金	51,618,479
退職共済積立預金	102,454,656
福祉基金積立預金	50,408,469
財政調整基金積立金	30,000,000
資産合計	380,995,910

負債の部	
科目	金額
流動負債	19,735,835
未払金	18,753,089
預り金	982,746
前受金	0
固定負債	102,454,656
退職給与引当金	102,454,656
徴収不能引当金	0
負債合計	122,190,491
純資産の部	
基本金	3,000,000
国庫補助金等特別積立金	2,640,383
その他の積立金	132,026,948
次期繰越活動収支差額	121,138,088
純資産合計	258,805,419
負債・純資産合計	380,995,910

てんとうむし体操教室 ★ 大好評!!

目的：運動器の機能向上を目的として、体操やレクリエーション等で筋力アップを図り、健康な体づくりをします。

対象年齢：65歳以上の方

	尾上在宅介護支援センター 日時：毎月2・4火曜日 10:30~12:00 場所：尾上地域福祉センター 2階集団指導室	碓ヶ関在宅介護支援センター 日時：毎月第1・3火曜日 13:30~15:00 場所：碓ヶ関地域福祉センター (ハッピーハウス) 多目的室
平成27年8月	11日 25日	4日 18日
9月	8日 29日	2日(水) 15日
10月	13日 27日	6日 20日
11月	10日 24日	10日 17日
12月	8日 22日	1日 15日
平成28年1月	12日 26日	5日 19日
2月	9日 23日	2日 16日
3月	8日 22日	1日 15日

“少しでもお節介事業 女性登録者募集”

結婚を真剣に考えている男女に、1対1（仲介者あり）での出会いの場を提供します。

現在、7名の男性登録者（35歳～58歳）が、30歳～60歳までの女性登録者との出会いを希望しています。この機会にぜひ登録を考えてみませんか！

（地域福祉課 お節介係 44-5937）



とび土工 土木工事一式
管工事 上下水道設備工事
久吉ダム水道企業団工事指定店

有限会社 一戸建設工業

代表取締役 一戸和夫

平川市碓ヶ関三笠山21-1
TEL0172-46-2312 FAX0172-46-2727

www.kyosai-somori.jp

名前は火災共済ですが、
火災だけじゃないんです。



青森県火災共済協同組合
弘前事務所 0172-32-7436





児童館<9月~3月行事予定>



平川市社会協議福祉会では、平賀児童館・尾上児童館の2館を運営しており、平賀児童館・尾上児童館では、27年度も4月から色々な行事が行われています。

そこで、今後予定されている9月から3月の行事をご紹介します。興味のある方は、ぜひ児童館へ遊びに来てください。

月	平賀児童館	尾上児童館
9	<ul style="list-style-type: none"> ・一輪車講習会 ・館外活動（平賀中央公園等ごみ拾い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日プレゼント
10	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸教室 ・世代間交流広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の館外活動 ・ごみ拾い（環境整備）
11	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回一輪車フェスティバル ・イラストコンクール 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラ板工作
12	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会（ケーキ作り） ・大そうじ 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のおはなし会（尾上図書館） ・クリスマス会 ・正月飾り制作
1	<ul style="list-style-type: none"> ・正月遊び ・社会見学 ・一輪車検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・コマ回し（すぐり）大会
2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分集会 ・館外活動（雪遊び） 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子作り
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りお茶会 ・修了お祝い会 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会

児童館作品展

《6月 七夕飾りの制作をしました》



平賀児童館



尾上児童館



平川おもちゃ病院は、7月の定例開院日より、「平川市健康センター」から「イオンタウン平賀専門店街」へ転院しました。開院日は毎月第2土曜日で、受付時間は13：30から15：00まで、診察時間は13：30から15：30までです。15：00の時点で患者様がいない時は、閉院となります。

また、見習いおもちゃドクターのインターンも募集いたします。ドクターの養成講習会を受講していなくても、おもちゃの修理に興味のある方は、大歓迎です。よろしくお願いたします。ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

平川おもちゃ病院 担当 船水 TEL 0172-44-5937

善意

平成27年2月から平成27年7月までに善意を寄せられた方々に厚くお礼を申し上げます。(敬称略)

〈個人〉

菊池アキ(本町) 10,000円

〈団体〉

はしご酒まつり実行委員会(委員長 田本和行) 55,015円

平川市商工会女性部(部長 成田キミエ) 15,000円

碓ヶ関赤十字家庭看護法奉仕団(代表 大川富子) 33,708円

平川市尾上職人組合(組合長 奈良勝美) 11,537円

碓ヶ関地区婦人会(代表 山口絹子) 12,370円

平川市ゴルフ協会(会長 原田立男) 55,442円

〈物品寄贈〉

NPO法人ふるさとの会 玄米 30kg、生キャベツ 8玉

匿名 尿とりパッド 2袋、リハビリパンツ 1袋、介護用おむつ 1袋
薄型リハビリパンツ 1袋、介護用おむつフラットタイプ 3袋

今井克子(松館) テープ式紙おむつ 8袋、尿とりパッド 6袋、履くパンツ 1袋
ケアシート 3枚、小型吸引器 1台、シャワーチェア 1脚
ポリ尿器 1台、安楽便座 1台

岩崎兼雄(高田) ブルタブ 29.8kg

平川市碓ヶ関小学校 ブルタブ 102kg

蓮乗院 住職 村田孝澄(猿賀) 米 102kg

ボランティアひまわりの会 ブルタブ 260g

匿名 紙パンツ 7袋、尿とり 2袋

齋藤のり(南田中) ブルタブ 3kg

大西ふみ(三重県桑名市) 電子レンジ 1台、掃除機 1台

油川悦子(尾上) 本 22冊

山内昭男(駅前) 小説単行本 36冊

山谷文續(沖館) 米 60kg

※ペットボトルキャップの受付は終了しました。

編集と発行

ふれあいネットワーク

平成27年8月15日発行

社会福祉法人 平川市社会福祉協議会



- 事務局 平川市柏木町藤山16-1(平川市健康センター内)
E-mail:hirakawashi@hirasyakyo.org
TEL44-5937 地域福祉課直通 88-7066 FAX44-4574
URL:http://www.hirasyakyo.org/
- 平賀事業所 平川市柏木町藤山16-1(平川市健康センター内)
TEL44-5907 FAX44-4574
- 尾上事業所 平川市猿賀南田96-3(平川市尾上地域福祉センター内)
TEL57-5311 FAX57-5313
- 碓ヶ関事業所 平川市碓ヶ関三笠山120-1(平川市碓ヶ関地域福祉センター内)
TEL45-2725 FAX45-2782



この広報紙は、皆様の会費と赤い羽根共同募金の配分金で作成されました。